2026.10.5
尼崎市総合計画審議会
第2回第１分科会
資料第2号

施策０１　地域コミュニティ・学び

＜施策がめざす状態＞

市民一人ひとりが自分らしく学び・活動し、まちへの愛着や人とのつながりを育んでいます。

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	**地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進**
めざす状態	市民が自分らしく学び、つながりを広げ、暮らしや地域で学びを生かしています。
取組項目	＃多様な団体間のつながりづくり　＃市民に身近な職員の育成 ＃だれもが参加できる身近な学びと活動の場づくり ＃情報や活動へのアクセスしやすさ　＃図書サービスの充実　＃学びと活動の循環 ＃地域振興センター（地域課）による市民活動・協働支援の充実
施策の方向性(2)	**文化芸術体験・活動の推進**
めざす状態	市民が気軽に文化芸術を楽しみ、交流が生まれています。
取組項目	＃文化芸術を楽しみ、交流する機会の充実　＃文化芸術活動の支援 ＃アーティストの活躍支援　＃文化施設の再整備に向けた検討
施策の方向性(3)	**歴史遺産の継承と学びの充実**
めざす状態	市民が地域の歴史や文化財に親しみ、まちの魅力や誇りを感じています。
取組項目	＃歴史遺産を学べる環境づくり　＃保存と活用　＃学び、活動する市民の支援
施策の方向性(4)	**スポーツに親しむ機会の充実**
めざす状態	市民が自分に合った形でスポーツに親しみ、交流が生まれています。
取組項目	＃誰でも参加できるスポーツ環境の充実　＃生涯スポーツの推進 ＃競技スポーツの推進　＃スポーツを通じた交流の促進

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

○ 【生涯学習・交流】市民との協働による講座やイベントなどを開催する中で、市民の主体的な参加意識が高まりつつあります。今後は、これまでアプローチできていなかった市民の参加や、地縁型活動の活性化を促進するため、これまで以上に地域へ出向き、こどもから大人まで、多様な主体との協働による取組を進める必要があります。（施策の方向性(1)）

○ 【図書館】図書館は知の拠点として、市民の生涯学習の推進と豊かな生活を確保してきましたが、さらなる施設機能や図書サービスの充実、交流拠点としての活用を目指す必要があります。（施策の方向性(1)）

○ 【文化芸術活動】市民の文化芸術活動を推進していますが、芸術の拠点であった総合文化センターの休館という大きな環境の変化の中、市民の文化芸術体験を支えるとともに、こどもから大人まで市民が自発的に、自由に文化芸術を創作・発表できるよう取り組む必要があります。（施策の方向性(2)）

○ 【歴史・文化】歴史・文化情報によりアクセスしやすい環境整備を進めてきましたが、さらに歴史文化を知って、守り、生かし、伝えるためにも、効果的な情報発信や、学び・活動する市民等への支援を充実していく必要があります。（施策の方向性(3)）

○ 【スポーツ】大会誘致・環境整備によるスポーツに親しむ機会の創出に取り組んできましたが、より多様な市民がスポーツに参加できる取組や関係団体等の活性化を図る必要があります。（施策の方向性(4)）

<まちづくりの総合指標>

市民の「豊かさ」実感 ／ 地域の「豊かさ」実感 ／ 暮らしの「豊かさ」実感

調整中

<施策の代表指標>

「私は、暮らしている地域の人とつながりを持っている」と答えた市民の割合

基準値 R8：○○.○% 指標の方向性 ↑

<施策の方向性ごとの代表指標>

施策の方向性(1)	地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進		
代表指標	「尼崎市は身近に学んだことを地域で活かせるまちだ」と感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%(R8)	指標の方向性	↑
施策の方向性(2)	文化芸術体験・活動の推進		
代表指標	「文化芸術を気軽に楽しむことができるまちだ」と感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%(R8)	指標の方向性	↑
施策の方向性(3)	歴史遺産の継承と学びの充実		
代表指標	「尼崎市の歴史や文化財は、まちの魅力の一つになっている」と感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%(R8)	指標の方向性	↑
施策の方向性(4)	スポーツに親しむ機会の充実		
代表指標	「自分に合った形で運動やスポーツを楽しめるまちだ」と感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%(R8)	指標の方向性	↑

写真（掲載予定）

分野別計画（掲載予定）

施策01 地域コミュニティ・学び 補完指標一覧

補完指標のうち、実感や意識を尋ねるもの（主観指標）については、測定に用いる調査を【 】内に記載しています。

施策/施策の方向性	めざす状態	代表指標	補完指標
施策（全体）	市民一人ひとりが自分らしく学び・活動し、まちへの愛着や人とのつながりを育んでいます。	「私は、暮らしている地域の人とつながりを持っている」と答えた市民の割合	①自分らしい学びをしている市民の数 （各種講座等への参加者数） ②「私は、暮らしている地域に愛着を持っている」と答えた市民の割合 【市民意識調査】
施策の方向性⑴ 地域コミュニティの醸成・生涯学習の推進	市民が自分らしく学び、つながりを広げ、暮らしや地域で学びを生かしています。	「尼崎市は身近に学んだことを地域で活かせるまちだ」と感じる市民の割合	①生涯学習プラザ等における各種講座等への延べ参加者数 ②生涯学習プラザ利用者数 ③「地域の活動に参加している」と答えた市民の割合 【市民意識調査】 ④市民一人あたりの貸出冊数
施策の方向性⑵ 文化芸術体験・活動の推進	市民が気軽に文化芸術を楽しみ、交流が生まれています。	「文化芸術を気軽に楽しむことができるまちだ」と感じる市民の割合	①「（気軽に）文化芸術を楽しむことは人との交流につながる」と思う市民の割合 【市民意識調査】
施策の方向性⑶ 歴史遺産の継承と学びの充実	市民が地域の歴史や文化財に親しみ、まちの魅力や誇りを感じています。	「尼崎市の歴史や文化財は、まちの魅力の一つになっている」と感じる市民の割合	①「あなたは尼崎市や住んでいる地域の歴史や文化財について興味・関心がありますか」 【市民意識調査】 ②歴史博物館への来館者数
施策の方向性⑷ スポーツに親しむ機会の充実	市民が自分に合った形でスポーツに親しみ、交流が生まれています。	「自分に合った形で運動やスポーツを楽しめるまちだ」と感じる市民の割合	①「尼崎市は、スポーツを通じて人と交流できる機会があるまちだ」と思う市民の割合 【市民意識調査】 ②健康を意した運動やスポーツを行っている市民の割合 【市民意識調査】 ③誘致大会観戦者及び市民スポーツ大会参加者数

施策 02　人権尊重・多文化共生

＜施策がめざす状態＞

それぞれの違いや多様性を認め合い、だれもが自分らしく生きることができています。

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	**多様化する人権問題への取組の推進**
めざす状態	市民が人権を自分事として捉え、互いの違いを尊重して行動しています。
取組項目	＃女性活躍推進をはじめとするジェンダー平等の取組の推進 ＃インターネット上の人権問題等の多様化・複雑化する人権問題への取組の推進
施策の方向性(2)	**多文化共生社会の実現への取組の推進**
めざす状態	国籍や民族などの異なる人々が、それぞれの文化的違いを認め合い、地域の中で共に安心して暮らせています。
取組項目	＃外国人と日本人が交流できる場づくり ＃外国人と日本人が安心して共に暮らせるまち ＃日本語教育・学習の支援と推進
施策の方向性(3)	**学校園などにおける人権教育の推進**
めざす状態	すべての子どもが自分も他者も大切にする態度や行動が自然にできています。
取組項目	＃子どもの人権教育の推進　＃いじめ未然防止対策の充実 ＃多文化共生教育の充実
施策の方向性(4)	**市職員・教職員などへの人権教育の推進**
めざす状態	市職員・教職員一人ひとりが、人権尊重を基本とし、職場環境づくりや業務を推進しています。
取組項目	＃市職員の責務・役割　＃教職員の人権意識の醸成・指導力の向上 ＃当事者意識

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

○ 【多様化・複雑化する人権問題】人権を自分ごととして捉えるための啓発を進めてきましたが、より多様化・複雑化する人権課題に対応するため、最新の知識を得るための継続的学習が必要です。（施策の方向性(1)）

○ 【ジェンダー平等】性の多様性の理解促進とジェンダー平等の取組を進めてきましたが、さらに女性活躍推進について意識した取組を進める必要があります。（施策の方向性(2)）

○ 【多文化共生】各種多文化共生施策を推進してきましたが、近年、外国籍住民の国籍や在留資格、年齢構成に大きな変化が生じていることを踏まえ、対応するための効果的かつ効率的な施策の充実を図る必要があります。（施策の方向性(2)）

○ 【学校園における人権教育】学校園等における様々な人権教育や、いじめ問題への対応など子どもが安心して学べる環境づくりを進めてきました。今後は、これらの取組に加え、近年増加している外国籍児童生徒に対する多文化共生の推進など、社会の変化に応じた課題にも取り組む必要があります。（施策の方向性(3)）

○ 【市職員・教職員への人権教育】市職員・教職員への人権問題に対する正しい知識・理解を深める取組を進めてきましたが、自分ごととして捉え人権尊重をあらゆる場面に反映できる意識醸成や、知識・理解を常にアップデートできる環境の整備が必要です。（施策の方向性(4)）

<まちづくりの総合指標>

市民の「豊かさ」実感 ／ 地域の「豊かさ」実感 ／ 暮らしの「豊かさ」実感

調整中

<施策の代表指標>

「尼崎市では自分の個性や価値観を大切にしながら暮らせると思う」と答えた市民の割合

基準値 R8：○○.○% 指標の方向性 ↑

<施策の方向性ごとの代表指標>

施策の方向性(1)	多様化する人権問題への取組の推進		
代表指標	「私は、人権を、自分事として捉えている」と答えた市民の割合		
基 準 値	○○.○%(R8)	指標の方向性	↑
施策の方向性(2)	多文化共生社会の実現への取組の推進		
代表指標	「尼崎市では、国籍や民族などにかかわらず、誰もが安心して暮らせると思う」と答えた市民の割合		
基 準 値	○○.○%(R8)	指標の方向性	↑
施策の方向性(3)	学校園などにおける人権教育の推進		
代表指標	「尼崎市の子どもたちは、周りの人を大切にしていると思う」と答えた市民の割合		
基 準 値	○○.○%(R8)	指標の方向性	↑
施策の方向性(4)	市職員・教職員などへの人権教育の推進		
代表指標	「尼崎市の市職員は、年齢、性別、国籍、障害の有無などにかかわらず、市民一人ひとりを尊重して行政サービスを行っている」と答えた市民の割合		
基 準 値	○○.○%(R8)	指標の方向性	↑

写真（掲載予定）

分野別計画（掲載予定）

施策02　人権尊重・多文化共生 補完指標一覧

補完指標のうち、実感や意識を尋ねるもの（主観指標）については、測定に用いる調査を【　】内に記載しています。

施策/施策の方向性	めざす状態	代表指標	補完指標
施策（全体）	それぞれの違いや多様性を認め合い、だれもが自分らしく生きることができています。	「尼崎市では自分の個性や価値観を大切にしながら暮らせると思う」と答えた市民の割合	－
施策の方向性⑴ 多様化する人権問題への取組の推進	市民が人権を自分事として捉え、互いの違いを尊重して行動しています。	「私は、人権を、自分事として捉えている」と答えた市民の割合	①「男は仕事、女は家事・育児」という考え方に同感する市民の割合 【市民意識調査】 ②「女性だから・男性だから」ということを理由に生きづらさを感じることがあると答えた市民の割合 【市民意識調査】
施策の方向性⑵ 多文化共生社会の実現への取組の推進	国籍や民族などの異なる人々が、それぞれの文化的違いを認め合い、地域の中で共に安心して暮らせています。	「尼崎市では、国籍や民族などにかかわらず、誰もが安心して暮らせると思う」と答えた市民の割合	①国籍や文化的背景が異なる人について理解することは重要だと思うと答えた市民の割合 【市民意識調査】 ②国籍や文化的背景が異なる人と話したり関わったりすることに抵抗を感じますか。 【市民意識調査】
施策の方向性⑶ 学校園などにおける人権教育の推進	すべての子どもが自分も他者も大切にする態度や行動が自然にできています。	「尼崎市の子どもたちは、周りの人を大切にしていると思う」と答えた市民の割合	①「いじめは、どんな理由があってもいけない」と答えた児童生徒の割合 【 あまっこステップアップ調査】 ②「自分にはよいところがある」・「自分のことが好きだ」と答えた児童生徒の割合 【 あまっこステップアップ調査】
施策の方向性⑷ 市職員・教職員などへの人権教育の推進	市職員・教職員一人ひとりが、人権尊重を基本とし、職場環境づくりや業務を推進しています。	「尼崎市の市職員は、年齢、性別、国籍、障害の有無などにかかわらず、市民一人ひとりを尊重して行政サービスを行っている」と答えた市民の割合	①　「研修で学んだことを今後の業務に活かす具体的なイメージができた」と回答した市職員の割合 【職員調査】 ②職場に自分の居場所があり、同僚等は自分を理解してくれている」と感じる職員の割合 【職員調査】 ③「研修で学んだことを今後の教育実践で試してみようと思う」と回答した教職員の割合 【教職員調査】

施策03　学校教育

＜施策がめざす状態＞

全ての子どもが自分らしさを大切にしながら学び、他者と協働することで、豊かな未来を切り拓く力を身につけています

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	**学ぶ力と健やかな体の育成**
めざす状態	全ての子どもが多様な学習資源を活用し、自ら考え、主体的に学んでいます。
取組項目	#学ぶ力の育成　#教育における EBPM 推進　#情報リテラシーの向上 #情報モラルの教育　#食育の推進　#就学前教育の充実　#市立高校教育の充実
施策の方向性(2)	**多様性と包摂性のある教育の推進**
めざす状態	全ての子どもが、自分らしさを尊重され、自分に合った支援を受けながら、安心して共に学んでいます。
取組項目	#相談体制の充実　#不登校支援を中心とした学びの多様化の推進　#インクルーシブ教育の推進　#合理的配慮の提供に向けた体制整備
施策の方向性(3)	学校園・家庭・地域社会一体となった教育の充実
めざす状態	全ての子どもが、学校園・家庭・地域に支えられ、社会とつながりながら成長しています。
取組項目	#コミュニティ・スクールの推進　#地域学校協働活動の推進 #部活動地域展開の推進
施策の方向性(4)	**学びを支える教育環境の整備・充実**
めざす状態	全ての子どもが、良好な教育環境のもとで、安心して学び、充実した学校生活を送っています。
取組項目	#学校施設の整備・充実　#教職員の働き方改革の推進　#保護者の負担軽減への取組　#ICT 環境の整備・充実

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

○　【学ぶ力の育成】学習支援員やICTの活用など学習環境が改善し、基礎学力の定着が図られてきました。今後は教育データの更なる活用、個別最適な学びや協働的な学びを推進するとともに、適切に情報を活用し、社会の変化を乗り越えることができる力を育む必要があります。（施策の方向性(1)）

○　【多様性のある教育】学校内の教育相談体制を充実させるとともに、個々のニーズに応じたゆとりと特色ある教育など不登校支援を中心とした学びの多様化を推進しました。引き続き、グラデーションある学びの場や公教育の多様性を充実させていく必要があります。（施策の方向性(2)）

○　【地域との協働】市立学校へのコミュニティ・スクールの導入及び地域学校協働活動推進員の配置が進み、学校と地域が連携・協働し、学校づくり・地域づくりを進める基盤が整いました。引き続き、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進と活動の活性化を図る必要があります。（施策の方向性(3)）

○　【部活動の地域展開】将来にわたって、スポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実していくため、アマカツクラブの設置や認定地域クラブの認定など尼崎市版地域クラブ活動を推進してきました。引き続き、指導者の確保、活動場所の整備、使用ルール等の環境整備に取り組む必要があります。（施策の方向性(3)）

○　【教育環境の整備】児童生徒用端末の更新や給食費の保護者負担の軽減に取り組みました。引き続き、保護者負担の軽減・利便性向上、教育 DX の高度化、学校園施設の老朽化対策、教職員の働き方改革の推進により教育環境の整備を充実させ、学校運営を支える必要があります。（施策の方向性(4)）

<まちづくりの総合指標>

市民の「豊かさ」実感 ／ 地域の「豊かさ」実感 ／ 暮らしの「豊かさ」実感

調整中

<施策の代表指標>

「教育が充実しているまち」だと感じる市民の割合

基準値 ○○.○%（R8） 指標の方向性 ↑

<施策の方向性ごとの代表指標>

施策の方向性(1)	学ぶ力と健やかな体の育成		
代表指標	「子どもが自ら進んで学ぶことができているまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	指標の方向性	↑
施策の方向性(2)	多様性と包摂性のある教育の推進		
代表指標	「子どもが誰も取り残されずに学べる環境が整っているまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	指標の方向性	↑
施策の方向性(3)	学校園・家庭・地域社会一体となった教育の充実		
代表指標	「学校・家庭・地域が一体となって、子どもの成長を支えているまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	指標の方向性	↑
施策の方向性(4)	学びを支える教育環境の整備・充実		
代表指標	「子どもが良好な教育環境で学べるまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	指標の方向性	↑

写真（掲載予定）

分野別計画（掲載予定）

施策03学校教育 補完指標一覧

補完指標のうち、実感や意識を尋ねるもの（主観指標）については、測定に用いる調査を【　】内に記載しています。

施策/施策の方向性	めざす状態	代表指標	補完指標
施策（全体）	全ての子どもが自分らしさを大切にしながら学び、他者と協働することで、豊かな未来を切り拓く力を身につけています	「教育が充実しているまち」だと感じる市民の割合。	①「困難や課題に対し、周りの人と協力して解決に向けて取り組んでいる」に肯定的に答えた児童生徒の割合 【あまっこステップアップ調査（※）】 ※市内の小中学校の児童・生徒を対象に行っている調査 ②「自分にはよいところがある」、「自分のことが好きだ」に肯定的に答えた児童生徒の割合 【あまっこステップアップ調査】
施策の方向性（1）学ぶ力と健やかな体の育成	全ての子どもが多様な学習資源を活用し、自ら考え、主体的に学んでいます。	「子どもが自ら進んで学ぶことができているまち」だと感じる市民の割合。	①「自分に合った方法を考えたり、学び方を工夫したり試行錯誤しながら学習している」に肯定的に答えた児童生徒の割合 【 あまっこステップアップ調査】 ②全国学力・学習状況調査の尼崎市の平均正答率と全国平均正答率との差 ③新体力テストの合計点（全国実施の新体力テストの結果数値）
施策の方向性（2）多様性と包摂性のある教育の推進	全ての子どもが、自分らしさを尊重され、自分に合った支援を受けながら、安心して共に学んでいます。	「子どもが誰も取り残されずに学べる環境が整っているまち」だと感じる市民の割合。	①学校や学校以外のさまざまな学びの場に自分の居場所（家庭や学習塾は除く）があると感じている児童生徒の割合 【 あまっこステップアップ調査】 ②困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると感じている児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査（児童・生徒質問）】
施策の方向性（3）学校園・家庭・地域社会一体となった教育の充実	全ての子どもが、学校園・家庭・地域に支えられ、社会とつながりながら成長しています。	「学校・家庭・地域が一体となって、子どもの成長を支えているまち」だと感じる市民の割合。	①コミュニティ・スクールと地域学校協働活動により、学校が抱える課題等の解決策が見いだせたと回答した学校の割合 【コミュニティ・スクール導入校の学校長及び学校運営協議会会長を対象にしたアンケート調査】 ②学校の教育活動にかかわりを持っている市民の割合 【市民意識調査】
施策の方向性（4）学びを支える教育環境の整備・充実	全ての子どもが、良好な教育環境のもとで、安心して学び、充実した学校生活を送っています。	「子どもが良好な教育環境で学べるまち」だと感じる市民の割合。	①ワークエンゲイジメントと職場の一体感に係る質問に肯定的な回答をした教職員の割合 【学校教職員のストレスチェック】 ②学校園におけるトイレの洋式便器化率

施策４　子ども・子育て支援

＜施策がめざす状態＞

全てのこども・若者が、権利を尊重され、安心して自分らしく心豊かに育っています

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	**こどもの権利をまんなかに自分らしさを育む環境づくりの推進**
めざす状態	こども・若者が権利の主体として尊重され、自分の思いや意見を表明できています。
取組項目	＃こどもの権利擁護　＃こどもの権利主体の理解促進 ＃こども・若者の意見聴取・反映　＃ユースワークの取組の拡大
施策の方向性(2)	**妊娠期から子育て期にわたる支援の推進**
めざす状態	妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援が届き、保護者が安心して子どもを育てています。
取組項目	＃妊娠期・育児支援　＃子育て相談環境の充実　＃地域で支える子育て支援
施策の方向性(3)	**子育てと仕事が調和する環境づくりの推進**
めざす状態	保護者が必要な保育・子育て支援を利用し、希望する働き方と子育てを両立できています。
取組項目	＃保育施設等・児童ホームの量の確保及び質の向上 ＃保育施設等・児童ホームの人材確保・定着化　　＃病児保育の充実
施策の方向性(4)	**こどもが健やかに育つための支援体制の充実**
めざす状態	困難を抱えるこども・若者や家庭が孤立せず、必要な支援につながり、安心して生活し成長しています。
取組項目	＃「いくしあ」と児童相談所による総合的な支援　＃地域一体となった取組の推進 ＃困難を抱えるこどもへの理解と支援

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

○　【権利擁護・意見表明】子どものための権利擁護委員会の設置や、こども・若者が気軽に意見表明できるオンラインプラットフォームやユースカウンシルの実施など、意見表明の機会の確保が進められており、今後もこうした意見を踏まえ、こどもが主体的に社会に参加する仕組み作りに取組んでいく必要があります。（施策の方向性(1)）

○　【妊娠期・育児支援】保護者が安心して子育てできるように、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の構築に向け、妊産婦健診や産後ケア事業など母子保健対策を推進してきました。今後は、子どもの成長発達のみならず、体調や育児に不安を感じる保護者に寄り添い支えるため、健診体制の整備や DX の推進、こども家庭センター機能の充実等に取り組む必要があります。（施策の方向性(2)）

○　【待機児童の解消】認可保育所の新設などにより、令和８年４月の保育施設等待機児童ゼロを達成しました。一方で、児童ホームの申込者は増加傾向にあり、引き続き、待機児童対策に取り組む必要があります。また、多様化する保育ニーズについて現状や課題を把握し、適切に対応する必要があります。（施策の方向性(3)）

○　【困難を抱えるこどもへの支援】関係機関との連携により、困難を抱えるこどもや家庭に対し、総合的な支援を実施しています。しかし、支援を必要とするこどもを取り巻く環境は多様化・複雑化しており、関係機関との連携をさらに強化する必要があります。（施策の方向性(4)）

<まちづくりの総合指標>

市民の「豊かさ」実感 ／ 地域の「豊かさ」実感 ／ 暮らしの「豊かさ」実感

調整中

<施策の代表指標>

「こども・若者がいきいきと暮らせるまち」だと感じる市民の割合

基準値 ○○.○%（R8） 指標の方向性 ↑

<施策の方向性ごとの代表指標>

施策の方向性(1)	**こどもの権利をまんなかに自分らしさを育む環境づくりの推進**		
代表指標	「こども・若者が自分の意見を表明しやすいまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑
施策の方向性(2)	**妊娠期から子育て期にわたる支援の推進**		
代表指標	「子育てをしやすいまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑
施策の方向性(3)	**子育てと仕事が調和する環境づくりの推進**		
代表指標	「子育てと仕事を両立しやすいまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑
施策の方向性(4)	**こどもが健やかに育つための支援体制の充実**		
代表指標	「こどもや家庭が困った時に相談しやすい環境が整っているまち」だと感じる市民の割合		
基 準 値	○○.○%（R8）	**指標の方向性**	↑

写真（掲載予定）

分野別計画（掲載予定）

施策04　子ども・子育て支援　補完指標一覧

補完指標のうち、実感や意識を尋ねるもの（主観指標）については、測定に用いる調査を【　】内に記載しています。

施策/施策の方向性	めざす状態	代表指標	補完指標
施策（全体）	全てのこども・若者が、権利を尊重され、安心して自分らしく心豊かに育っています	「こども・若者がいきいきと暮らせるまち」だと感じる市民の割合。	―
施策の方向性（1） こどもの権利をまんなかに自分らしさを育む環境づくりの推進	こども・若者が権利の主体として尊重され、自分の思いや意見を表明できています。	「こども・若者が自分の意見を表明しやすいまち」だと感じる市民の割合。	①コドモワカモノボイスアクション（※）の登録者数 ※こども・若者が気軽に意見を表明できるオンラインによる意見交換プラットフォーム ②子どものための権利擁護委員会（※）における新規相談件数 ※子どもの権利擁護を目的とし、子どもの声を聴き、関係機関及び関係者との調整や行政機関等の制度改善に向けた提言等を行う機関として、学校現場を含む行政機関からの独立性と専門性を有する委員会 ③被措置児童のうち意見表明を行った児童の割合
施策の方向性（2） 妊娠期から子育て期にわたる支援の推進	妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援が届き、保護者が安心して子どもを育てています。	「子育てをしやすいまち」だと感じる市民の割合。	①妊娠、出産に満足している人の割合【乳幼児健診時のアンケート】 ②乳幼児健康診査受診率 ③つどいの広場（※）の延べ利用人数 ※乳幼児及び保護者が相互の交流を行う場所（子育てについての相談や情報提供、助言等を行う事業） ④ファミリーサポートセンター（※）の活動件数 ※子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と子育てを援助したい人（協力会員）がそれぞれに会員となって地域でお互いに子育ての支え合いが行われるようコーディネートする事業
施策の方向性（3） 子育てと仕事が調和する環境づくりの推進	保護者が必要な保育・子育て支援を利用し、希望する働き方と子育てを両立できています。	「子育てと仕事を両立しやすいまち」だと感じる市民の割合。	①保育施設等待機児童数 ②児童ホーム入所待機児童数 ③病児保育の延べ利用人数
施策の方向性（4） 子どもが健やかに育つための支援体制の充実	困難を抱えるこども・若者や家庭が孤立せず、必要な支援につながり、安心して生活し成長しています。	「こどもや家庭が困ったときに相談しやすい環境が整っているまち」だと感じる市民の割合。	①いくしあ（※）総合相談における新規相談件数 ※こどもや子育てに関して課題や困難を抱える0歳からおおむね18歳までのこどもたちと子育て家庭に寄り添い、様々な関係機関が連携しながら、切れ目なく継続的に支援を行う総合施設 ②要保護児童で重症度が低下した児童の割合 ③ひきこもり支援による状態が改善した青少年の割合

行政運営 01 【協働】ともにまちづくりを進めるために

＜施策がめざす状態＞

分かりやすい情報の発信と市民との対話を通じて、多様な主体とともにまちづくりを進めています。

＜施策の方向性のめざす状態と取組項目＞

施策の方向性(1)	市民の市政参画と情報の共有・発信
めざす状態	市政情報を分かりやすく発信し、市民の声を聴きながら市政参画につなげている。
取組項目	#誰もが情報を受け取れる環境整備 #双方向のコミュニケーションによる市政参画の推進 #戦略的・効果的なプロモーションの推進 #開かれた情報発信　#情報発信の多様化
代表指標	「私は、必要な時に必要な市の情報を得ることができている」と答えた市民の割合
基 準 値	○○.○%(R8)　　指標の方向性　↑
施策の方向性(2)	さらなる協働のまちづくりの推進
めざす状態	市民と共に考え行動する職員が増え、協働の考え方の下に様々な施策・事業が行われています。
取組項目	#職員の協働スキルの育成　#協働意識の定着 #市民参画・協働の仕組みの充実
代表指標	「市と市民が一体となってまちづくりに取組んでいるまちだ」と感じる市民の割合
基 準 値	○○.○%(R8)　　指標の方向性　↑

＜めざす状態と現状とのギャップ（成果と課題）＞

○ 【情報発信】時宜に応じた戦略的な情報発信を実施し、市民が市政に参画しやすい環境整備を進めてきましたが、情報の受け取り方が日々多様化しています。必要な人に必要な情報が届く、分かりやすい情報発信を行っていく必要があります。（施策の方向性(1)）

○ 【市民参画】市民の意見を広く聴く取組を行ってきましたが、引き続き、多様な主体の声に耳を傾け、その意見を施策や市政運営の改善へと繋げていく必要があります（施策の方向性(1)・(2)）

○ 【制度の周知と定着】協働に関する制度を全ての職員が必要な時に積極的に活用できるように、制度の周知と定着を図る取組を強化していく必要があります。（施策の方向性(2)）

○ 【人材育成】「地域とともにある職員」としての地域担当職員の育成に加え、すべての職員への協働意識の定着に向けた研修等の工夫を行っていく必要があります。（施策の方向性(2)）

行施運営01　協働 補完指標一覧

補完指標のうち、実感や意識を尋ねるもの（主観指標）については、測定に用いる調査を【　】内に記載しています。

施策/施策の方向性	めざす状態	代表指標	補完指標
施策（全体）	分かりやすい情報の発信と市民との対話を通じて、多様な主体とともにまちづくりを進めています。	－	－
施策の方向性⑴ 市民の市政参画と情報の共有・発信	市政情報を分かりやすく発信し、市民の声を聴きながら市政参画につなげている。	「私は、必要な時に必要な市の情報を得ることができている」と答えた市民の割合	①私は、職員全員がシティプロモーションの役割を担う（プロモーターである）という意識を常に持ち、日々の業務に取り組むことができていると答えた職員の割合 【職員調査】 ②「私は、市政に関心がある」と答えた市民の割合 【市民意識調査】 ③「尼崎市は、市政に意見を伝えたり、参加したりしやすいと思う」と答えた市民の割合 【市民意識調査】
施策の方向性⑵ さらなる協働のまちづくりの推進	市民と共に考え行動する職員が増え、協働の考え方の下に様々な施策・事業が行われています。	「市と市民が一体となってまちづくりに取組んでいるまちだ」と感じる市民の割合	①「私は市民や事業者等からの意見や相談を日頃の業務に活用することを意識している」と答えた職員の割合 【職員調査】